

# 広島大学病院

Hiroshima University Hospital Medical-Dental Liaison News

No.23  
2011.10

## ニュース



- 気になる病院の言葉「ステロイド薬」
- ニュースアップ  
「レーザー新治療」  
「福島県副知事が来訪」  
「全県海が一つに」

- インタビュー 院長 三浦 浩一
- 院長のメッセージ
- 院長のつぶやき
- 院長のつぶやき
- 院長のつぶやき



気になる

病院の言葉①

# 「ステロイド薬」

医師をはじめ病院のスタッフと話している言葉の中でどんな意味がよく分からなかった経験はありませんか。ときには医療者と患者さんの理解が違っていることも少なくありません。ちょっと気になるあの言葉を、広島大学病院の専門家が解きほぐすシリーズをスタートします。

第1回は「ステロイド薬」。病院薬剤部の木平健治部長とスタッフの皆さんに聞きました。



病院薬剤部スタッフ 左から：木平健治薬剤部長、富田隆志薬剤主任、山中和子薬剤師、佐伯康之薬剤主任

## 指示通り使えば大丈夫!!

### ■ステロイドはもともと体の中で作られるそうですね。

左右の腎臓の上部にある副腎から分泌され、副腎皮質ホルモンとも呼ばれます。血圧や免疫反応など生体のバランスを維持するのに不可欠なホルモンです。体がストレスを受けると分泌されるステロイドの量が増えます。



### ■薬としてはどんな働きが?

薬として使うステロイドは化学合成された副腎皮質ホルモンそのものか、構造を少し変えた物質です。炎症、アレルギー反応、免疫反応を抑えるなどいろいろな働きをもち、作用の種類や強さ、体の中で薬として働く時間が異なるものが、用途に合わせて使用されています。また体内で作られる副腎皮質ホルモンが少ない場合の補充として使われることもあります。飲み薬や注射薬、吸入薬のほか塗り薬、点眼薬と用途に応じて剤型を使い分けます。

### ■どんな病気の治療に使われるのですか。

ぜんそくやアトピー性皮膚炎などアレルギーの病気、ネフローゼなど腎臓の病気、リウマチや膠原(こうげん)病など自己免疫の病気、ぶどう膜炎など目の病気、神経の病気、感染症、がんなど様々な病気に対して使用されます。



### ■副作用を心配する声をよく聞きます。



細菌などに感染しやすくなるほか、血糖値の上昇や胃潰瘍、骨粗しょう症などの副作用に注意が必要です。特に女性では、毛髪はむしろそのぶん体毛が少くなる傾向があり、顔が丸くなるムーンフェイスが気になるようですが、ほとんどの場合、治療が終われば元に戻ります。また、塗り薬でも皮膚が薄くなったり、体毛が濃くなったりすることがあります。治療期間にもよりますが、副作用は必ず起きるわけではありませんし、必要に応じて別の薬などを使って対処します。気がかりなことがあったら、遠慮せず主治医や薬剤師に相談してください。

### ■「一度使い出すとやめられなくなる」というのはホントですか。

習慣性を心配することはありません。ただし、病気によっては長期にわたって使う場合があります。注意しなければならないのは、急に使用をやめると症状が急に悪化する場合があります。急に使用をやめると、症状が急に悪化する場合があります。



一、

二、

三、

四、

五、

六、

ゲスト・インタビュー



## 中丸三千繪さんに聞く



世界のプリマドンナとして活躍されているソプラノ歌手の中丸三千繪さんが9月28日、ロビーコンサートのため広島大学病院を訪れ、美しい歌声で患者さんや市民を魅了しました。中丸さんにお話をうかがいました。

—2007年から毎年、当院で素晴らしい歌声を聞かせてくださっています

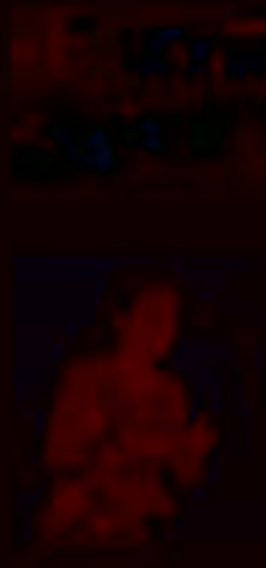
米国のフロリダで開かれた整形外科学会に出席されていた前病院長の越智光夫先生とお目にかかったのがきっかけです。その後、広島大学整形外科の開講50周年祝賀会にお招きいただき、そのご縁から病院でもコンサートを、ということになりました。



—山田がんと子どもたちの支援にも取り組まれています

—コンサートだけでなく、病棟でも歌います

—ご自身の音楽活動について



催しのお知らせ (2011年10月～2012年1月まで)

## 院内

### 患者サロン(がん治療を支える)

- 10月20日(木) 13:30～14:30  抗がん剤の基礎知識
- 11月17日(木) 13:30～14:30  抗がん剤の副作用
- 12月15日(木) 13:30～14:30  分子標的薬の基礎知識と副作用
- 平成23年1月18日(水) 13:30～14:30  上手な緩和ケアとのつきあい方

お問い合わせ先：広島大学病院 がん医療相談室 082-257-5079(直通)

### 肝臓病教室

- 10月26日(水) 14:30～16:00  C型肝炎について
- 11月30日(水) 14:30～16:00  肝がんについて

お問い合わせ先：広島大学病院 肝疾患相談室 082-257-1541(直通)

## 院外

### 第3回がん診療連携拠点病院共催市民講演会

- 10月29日(土) 14:00～16:15  「外来でおこなうがん治療」

場所：広島県民文化センター お問い合わせ先：県立広島病院 総務課 082-254-1818(内線4272)

### 第10回広島腎臓病・透析・栄養研究会市民公開講座

- 11月6日(日) 10:00～13:30  「知ろう腎臓病・考えよう栄養」

場所：広仁会館(広島大学豊キャンパス内) お問い合わせ先：広島大学病院 栄養管理課内 広島腎臓病・透析・栄養研究会担当 082-257-5075

### 市民フォーラム

- 11月23日(祝) 14:00～16:15  「てんかん治療の新しい展望2011」

場所：広仁会館(広島大学豊キャンパス内)

お問い合わせ先：グラクソ・スミスクライン 案内「てんかん市民フォーラム」係 TEL 080-5751-0447 (土・日・祝を除く 10:00～17:00)

## 読さんぽ

コミック本すらい

## ほのほの図書館

(入院棟2階レストロム前)

開館前に行列ができることもある人気のスポットです。文庫や健康・医療の本に加え、7000冊のコミックがあるほのほの図書館は、院内最大の読書スポットです。読書会や「読書ボランティア委員会」など、「読書イベント」も開催されています。

病院がボランティアの皆さんの協力を受けて運営している院内図書館

